

御社の経営上 最大の岐路は いつでしたか？

名古屋市立大学経済学研究科博士前期課程

経営者コース

本学では「経営者コース」を開設します。
新コースは、とりわけ企業経営に携わられてきた方々を対象とし、
経営者としてのみなさんの「経験」、すなわち
経営者に至る道のり、経営者としての実績、
それを支えてきたご自身の能力、
経営哲学、人的ネットワークなどを振り返っていただき、
ケース・自伝として「記述」します。
この「**経営者としての経験の記述**」により、
修士号を取得することができます。
みなさんの経営談を口承に留めてしまわずに
学術的な裏付けのある知財に変えてみませんか？



2020年4月開設

企業経営者募集中
名市大の経営学・経済学は次なるステージへ



経営実務に役立つ「経営者コース」を開設します

理事長／学長
郡 健二郎

経済界では、国際化や高度情報化が急速に進み、企業経営者の役割はより重要度が増えています。各企業の経営は、東海地区の経済状況に直結することから、社会的あるいは行政的にも肝要です。

本学の経済学部は1964年に、経済学研究科は1968年に、地元経済界の要請を受け開設されました。その後、優れた人材を社会に輩出し、経済界をリードする研究を発信してきました。一方、時代に即した大学改革を進める中であって、社会に貢献する経済学研究科のあるべき姿を、学内で話し合ってきました。

このような背景を踏まえ、本学では、経済学研究科に「経営者コース」を開設することになりました。本コースは、経営者の方々に入学して頂き、学術的な視点から独自の経営理論を築き、実践していただくことを目指しています。さらに単に学ぶだけでなく、学生がお互いの経験や実績をもとに交流し、経営に欠かせない人脈が深まることを期待しています。多くの方々が「経営者コース」において専門的に研究され、その成果が経営実務で大いに役立つことを心より願っております。



「経営者コース」の開設にあたって

研究科長
吉田 和生

経済学研究科では、平成元(1989)年にわが国で初めての社会人大学院を設立し、それ以来30年間に渡り、企業・官公庁・大学など各界の人材を教育・輩出してきました。その中には経営者も含まれており、学術的な教育指導を行う傍ら、経営者の優れた洞察・叡智に触れることも数多くありました。このような機会をより発展させるため、この度、「経営者コース」を開設しました。

このコースは企業経営に携わられてきた方々を対象とし、マネジメント能力、経営哲学・世界観、そしてその形成過程を振り返って頂くものです。戦略・組織などの経営学教員と制度・歴史などの経済学教員による協働指導を通して、学問的な議論に裏打ちされた事例・自伝を開発します。是非とも、企業経営に関する貴重な能力・経験を持っておられる経営者の方々が本コースに入学されることを心より期待しています。

コースの概要

1 求める学生像

- 次世代経営人材の育成にも知見を与えようとする意欲と能力に満ちた学生
- 経営者としての経験に基づいた明確な問題意識を持ち、「経営」並びに「制度と歴史」に関する思考方法や分析手法を学んで、経営者としての経験を体系的に整理・記述・発信することに取り組む意欲のある人

2 目的

- 経営者としての経験を分析し、経営者に求められるマネジメント能力とその形成過程を抽出すること
- そのマネジメント能力とその形成過程の蓄積を基に、次世代経営人材を育成すること

3 学習

授業科目 組織のマネジメントに関する高度な専門知識と経営人材に求められる教養を幅広く習得することを目的に、下記2つの科目群でカリキュラムを構築

経営系科目 組織や戦略に関わる理論的、実践的な問題を主たる研究対象とする	制度歴史系科目 マネジメントの根底にある制度や歴史を主たる研究対象とする
--	--

演習科目 広い知見の習得と深さと多面性を備えた研究を、同時にかつ体系的に行いよう構成

演習	先行研究のサーベイ、フィールド・ワークや質問票調査などの方法を通じて、学生自身が各々の研究課題をより深く追求できるように研究指導を行う
-----------	---

特別演習	研究成果の報告およびディスカッションを通じて、経営者としての経験の記述に関して多面的な見方を追求できるようにする
-------------	--

両演習とも、複数の教員による指導と学生間のディスカッションを通じて、できるだけ多くの経営者や次世代経営人材に注目されるマテリアル開発を促進する指導体制を取る

4 学位

- 研究報告書(「リサーチ・ペーパー」)
特定の課題についての研究報告書(「リサーチ・ペーパー」)1編を提出し、その審査および最終試験に合格することで学位授与

経営者コースの概要・展開

学生が授業・講義の中で経営者としての経験を、経済学・経営学的分析の上で体系的に整理し研究報告書としてまとめ上げる。それを蓄積したものを、大学として次世代経営人材の育成に役立てていく。



担当教員

鶴飼 宏成
専門分野: アントレプレナーシップ論、アントレプレナーシップ教育

《経歴》
1991年 株式会社住信基礎研究所東京研究本部 産業・経済グループ入社
2000年 法政大学大学院 社会科学研究所博士後期課程中退
2009年 愛知学院大学経営学部教授
2019年 名古屋市立大学大学院経済学研究科教授
《主な業績》
「技術の進展による働き方の変化」共著、『アーバン・アドバンス』(第70号)2018年9月／『はじめて出会う経営学』共著、中央経済社 2016年3月／「アントレプレナーシップ教育における支援者機能の一考察」単著、『経営管理研究所紀要』(第17号)11-21 2010年12月
キーワード アントレプレナーシップ、ベンチャー、インキュベーション

大神 正道
専門分野: 技術マネジメント
《経歴》
2010年 東京大学大学院経済学研究科博士課程 単位修得退学
名古屋市立大学大学院経済学研究科講師

《主な業績》
「技術進化とコミュニティの文化変容モデル」(共著)『経済学論集』(東京大学)75(3),61-78,2009.／「支配的技術の進化とコミュニティの影響—板ガラス成形技術の変遷—」(名古屋市立大学経済学会 ディスカッション・ペーパー No.591,2014)／Factors influencing the S-curve: Analyzing the Float process technology of the Glass industry, Annals of Business Administrative Science,15(4),187-197,doi:10.7880/abas.0160430b,2016.
キーワード イノベーション、技術進化、技術認識

河合 篤男
専門分野: 経営戦略
《経歴》
1995年 神戸大学大学院経営学研究科博士後期課程中退
名古屋市立大学経済学部助手を経て、翌年、専任講師
1999年 名古屋市立大学経済学部助教授
2005年 神戸大学博士(経営学)
2007年 名古屋市立大学大学院経済学研究科教授
《主な業績》
『100年成長企業のマネジメント 3Mに学ぶ戦略駆動力の経営』(共著)、日本経済新聞出版社、2017年／『切磋琢磨 慶應義塾・加藤寛ゼミに学ぶ人材育成』生産性出版、2007年／『企業革新のマネジメント 破壊的決定は強い企業文化を変えられるか』中央経済社、2006年
キーワード 経営組織、組織変革、人材育成とネットワーク

木谷 名都子
専門分野: 外国経済史
《経歴》
2005年 大阪外国語大学大学院言語社会研究科博士後期課程修了博士(学術)
2008年 名古屋市立大学大学院経済学研究科講師
2011年 名古屋市立大学大学院経済学研究科准教授
《主な業績》
「1930年代の国際経済秩序をめぐる研究動向—イギリス帝国特惠関税体制(オタワ体制)の意義をめぐって—」『オイコノミカ』第52巻第3号、2016年、81-88頁。／「植民地支配下のインドにおける資本家の動向—1930年代を中心に—」井上泰夫編著『日本とアジアの経済成長』、2015年、86-105頁。／「インド棉花輸出問題から見た英印民間会商と第一次日印会商—1930年代前半の対英特惠関税問題再考—」『社会経済史学』第71巻第6号、2006年、25-47頁。
キーワード イギリス帝国、英領インド、特惠関税

下野 由貴
専門分野: 国際経営、組織間関係
《経歴》
2004年 神戸大学大学院経営学研究科博士後期課程修了博士(経営学)
2006年 尾道市立大学経済情報学部専任講師
2011年 名古屋市立大学大学院経済学研究科准教授
《主な業績》
"Automobile Industry Supply Chain in Thailand"(共著), Springer Singapore,2018.／『スウェーデン流グローバル成長戦略』(共著)、中央経済社、2015年.／「サプライチェーンにおける利益・リスク分配:トヨタグループと日産グループの比較」『組織科学』第39巻第2号、2004年
キーワード グローバルサプライチェーン、企業間取引、自動車産業

出口 将人
専門分野: 経営戦略論、経営組織論
《経歴》
1998年 神戸大学大学院経営学研究科博士後期課程修了博士(経営学)
名古屋市立大学経済学部講師
2001年 名古屋市立大学経済学部助教授
2016年 名古屋市立大学大学院経済学研究科教授
《主な業績》
『組織文化のマネジメント』白桃書房、2004年／「1からの経営学第2版」(分担執筆)碩学会、2006年／「地域の産業集積の多様性とその決定要因」『組織科学』47(4) 41-53, 2017年。
キーワード 組織文化、制度、事業システム、産業集積

藤田 菜々子
専門分野: 経済学史、制度経済学
《経歴》
2005年 名古屋大学大学院経済学研究科博士後期課程修了博士(経済学)
2006年 名古屋市立大学大学院経済学研究科講師
2009年 名古屋市立大学大学院経済学研究科准教授
2016年 名古屋市立大学大学院経済学研究科教授
《主な業績》
『ミュルダールの経済学—福祉国家から福祉世界へ』NTT出版、2010年／『福祉世界—福祉国家は越えられるか』中央公論新社、2017年／『ミュルダール—福祉・発展・制度』(編・単訳)ミネルヴァ書房、2015年
キーワード 福祉国家、スウェーデン、資本主義の多様性

平野 大昌
専門分野: 労働経済学、応用計量経済学
《経歴》
2009年 大阪府立大学大学院経済学研究科 博士後期課程単位修得退学
京都大学経済研究所附属 先端政策分析研究センター研究員
2010年 大阪府立大学大学院経済学研究科 博士後期課程修了博士(経済学)
2015年 同志社大学政策学部政策学科学期付助教
2017年 名古屋市立大学大学院経済学研究科准教授
《主な業績》
「自己啓発と女性の就業」『季刊家計経済研究』家計経済研究所、第76号、pp.79-89,2007年10月／「失われた10年と日本企業の雇用調整行動—企業の規律付けメカニズムは変化したのか—」(共著)、『経済分析』内閣府経済社会総合研究所、第183号、pp.25-58,2010年3月／「大学生の内定獲得とインターンシップ経験のシグナリング効果」『生活経済学研究』生活経済学会、第41号、pp.31-44, 2015年3月
キーワード 雇用、人的資本、生産性

山口 明日香
専門分野: 日本経済史、環境史
《経歴》
2011年 慶應義塾大学大学院経済学研究科博士課程修了博士(経済学)
2014年 名古屋市立大学大学院経済学研究科講師
2017年 名古屋市立大学大学院経済学研究科准教授
《主な業績》
『森林資源の環境経済史』慶應義塾大学出版会、2015.／"The Government Railways and the Procurement of Railway Sleepers in Prewar Japan", in S. Sugiyama (ed.) Economic History of Energy and Environment, Tokyo: Springer, 2015.／「グローバル・ヒストリーのなかのアジア木材貿易」井上泰夫編『日本とアジアの経済成長』晃洋書房、2015
キーワード 産業化、環境、自然資源

山本 奈央
専門分野: マーケティング、消費者行動
《経歴》
2009年 神戸大学大学院経営学研究科博士後期課程修了博士(商学)
東京国際大学商学部専任講師
2011年 名古屋市立大学経済学研究科講師
2019年 名古屋市立大学経済学研究科准教授
《主な業績》
「オンラインコミュニケーションとブランドロイヤリティに関する探索的研究」,日本情報経営学会誌 第30号 No.4 pp58-68,2010年／「企業ウェブサイトのマーケティング利用における戦略目的と成果の関係についての探索的研究」(共著)、日本マーケティング学会 ワーキングペーパー、vol.2,no.8, pp1-23,2016年／「ソーシャルメディア時代のブランドによる自己表現」,織維製品消費科学,59巻11号 pp.856-861,2018年
キーワード ブランド、消費者間相互作用



滝子キャンパス (山の畑キャンパス)

〒467-8501 名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1

TEL (052) 872-5702

<https://www.econ.nagoya-cu.ac.jp/>

利用交通機関

名古屋駅から

地下鉄桜通線「桜山」駅下車 (5番出口)

金山駅から

〈市バスターミナル〉

7番のりば金山11号系統「地下」行き「滝子」下車

7番のりば金山12号系統「妙見町」「金山」行き「滝子」下車

7番のりば金山16号系統「瑞穂運動場東」行き「滝子」下車

8番のりば金山14号系統 桜山経由「瑞穂運動場」行き「滝子」下車



お問い合わせ

名古屋市立大学 経済学研究科
052-872-5702